

科目コード	ナンバリング	単位数	学期	授業区分	科目区分	履修区分	学年
470003	XYY2470003			国際学部国際文化学科	×	×	×
授業科目	担当教員			国際学部国際文化学科英語集中コース	×	×	×
				情報文化学部情報文化学科	×	×	×
学外実習	内田 亨	2	インターンシップ・学外実習	情報文化学部情報システム学科経営コース(26年度以降)	専門	選択	3年
				情報文化学部情報システム学科情報コース(26年度以降)	専門	選択	3年
				情報文化学部情報システム学科経営コース(25年度)	専門	選択	3年
				情報文化学部情報システム学科情報コース(25年度)	専門	選択	3年
				情報文化学部情報システム学科(24年度以前)	専門	選択	3年

授業目的

学外実習は、大学と企業等とが事前に協議し、大学から派遣された学生が、ある一定期間、企業等において、就業体験を行うものである。この科目では、学生が大学で学んでいることがらが、実社会でどのように役立つかを、企業等に入って体験し、そこで得た知見や経験をもとに、専攻分野での知識向上、学習意欲の向上を図ることを目的としている。併せて、学生が就職を含め、将来の進路を考える上で貴重な経験と情報を得ることができる。

こうしたことを学ぶことによって「健全な社会生活を営むための常識を持ち、他者と協力して問題解決に当たることができる」人物像を目指す。なお、実習先によりプログラムが違うが、一例を下記の各回ごとの授業内容に記す。

各回毎の授業内容

第1回

- 【授】事前学習：マナー
- 【前・後】マナー本の熟読、予習復習に4時間

第2回

- 【授】事前学習：業界研究
- 【前・後】業界地図の熟読、予習復習に4時間

第3回

- 【授】事前学習：企業研究
- 【前・後】ホームページの閲覧、予習復習に4時間

第4回

- 【授】事前学習：企業研究
- 【前・後】新聞・雑誌記事の探索、予習復習に4時間

第5回

- 【授】事前学習：企業担当者との顔合わせ
- 【前・後】第1回から第4回のおさらい、研修前の心構え習得、予習復習に4時間

第6回

- 【授】実地研修
- 【前・後】オリエンテーション、予習復習に4時間

第7回

- 【授】実地研修
- 【前・後】前日の報告書作成、予習復習に4時間

第8回

- 【授】実地研修
- 【前・後】前日の報告書作成、予習復習に4時間

第9回

- 【授】実地研修
- 【前・後】前日の報告書作成、予習復習に4時間

第10回

- 【授】実地研修
- 【前・後】前日の報告書作成、予習復習に4時間

第11回

- 【授】実地研修
- 【前・後】前日の報告書作成、予習復習に4時間

第12回

- 【授】実地研修
- 【前・後】前日の報告書作成、予習復習に4時間

第13回

- 【授】実地研修
- 【前・後】前日の報告書作成、予習復習に4時間

第14回

- 【授】実地研修
- 【前・後】前日の報告書作成、予習復習に4時間

第15回

- 【授】実地研修
- 【前・後】前日の報告書作成、予習復習に4時間

第16回

成績評価方法

	知識・理解	思考・判断	関心・意欲	強調・指導力	発表・表現	その他	評価割合(%)
定期試験							
小テスト・授業内レポート							
宿題・授業外レポート							50
授業態度・授業への参加							
成果発表（口頭・実技）							
演習							
その他							50

学外実習先からの評価：50%、最終報告書：50%（担当教員によっては面接を行う）

最終報告書の提出は9月末、未提出の場合には、単位習得できない。

最終報告書は、教員の指導を受けながら作成する（フィードバック）。

教科書参考書

- ・過去の実習報告書（学務課教務係の棚に保管）。
- ・各企業・団体のホームページを参照すること、また新聞検索もしておくこと。

受講に当たっての留意事項

- ・今年度から担当教員との面接が必須となる
- ・学外実習による就業体験は、アルバイトではないので、実習先が提供する研修・就業に参加するという目的意識をしっかりともって臨むこと。
- ・実習先における態度、成果は、本人はもとより、本学に対する評価につながる場合がある。そのため、学業成績、日常の規律遵守に著しく問題のある学生に対しては実習を許可されない。参加する学生は、本学から派遣されていることを自覚して就業に臨むこと。
- ・各企業の希望者が実習先の受け入れ人数を越えた時は、担当教員が選考する（実習できない場合がある）

学習到達目標

- ・実習先企業等の業務を理解し、その一部を体験すること。
- ・今後の学習やスキルアップへの動機付け・方向付けができる。
- ・職業意識を形成・明確化し、職業に対する適性やキャリア開発について考えることができる。

【授】：授業内容 【前・後】：事前・事後学習